

**メスキュード医療安全基金より、藤田医科大学地域共生社会推進センターに対して寄付が行われ、贈呈式が開催されました。  
贈呈式が開催されました。（2026年6月12日）**

医療機関内での針刺し事故等の社会課題に対応するため、鉄の廃材を電気炉で溶かし、鉄製品を製造する事業を展開する共英製鋼株式会社が、医療廃棄物を安全に回収・運搬し、熔融処理するシステム、メスキュードシステムを開発し、医療安全への社会的関心を高めようと2003年より開始したのが「メスキュード医療安全基金」です。

藤田医科大学地域共生社会推進センターが進める「生成AIを活用した退院時指導書交付の仕組み」について、今回の寄付対象に選定いただきました。6月12日、岡山市内で開催された贈呈式に参加しました。

※ 共英製鋼株式会社による発表：<https://www.kyoeisteel.co.jp/ja/news/information/information536582748246871872.html>



今回の贈呈は4団体に対して行われ、藤田医科大学以外では、前列左2人目より右に向け、公益財団法人 日本AED財団 三田村秀雄理事長、特定非営利活動法人 国際保健協力市民の会 中佐保代表理事、公益財団法人 日本医療機能評価機構 河北博文理事長の皆様が参加されました。



メスキュード医療安全基金 高島浩司理事長より受贈しました。



三田村秀雄日本AED財団理事長より、「心臓突然死を防ぐ：日本AED財団の役割、取組み、展望」について講演が行われました。三田村先生は、AED（自動体外式除細動器）の国内での普及を主導されました。